

## 蔵王温泉スキー報告

期 日 : 2018年 1月6日(土)~8日(月)  
 参加者 : CL柘植(記録)、杉山、村尾、井上里  
 報 告 :



### 1/6(土) 概ね曇り

千葉を早朝発、3連休というものの渋滞もなく、10時すぎには現地に到着。宿泊予定の民宿銀嶺本店は蔵王温泉スキー場中央の中森グレンデ正面で、蔵王中央ロープウェイ乗り場は目の前という好立地。まだ本来のチェックイン時刻前だが、民宿の好意で部屋に入れてもらい、着替えてさっそく初滑りに向かう。蔵王は広いので、どこから手をつけたらいいのかわからないので、蔵王には何回も来ている杉山さんの案内で、中央ロープウェイで上に上がる。上に着いたころは残念ながらにも見えず、ただ杉山さんの後についてあちこち行くのみ。一応グレンデマップはもらっているのときどき見るが、視界がほとんどないので、目の前にリフトが出てきたら、それで現在位置を確認するということの繰り返し。初日は16時に切り上げて民宿に戻る。温泉⇒部屋での宴会⇒夕食 というスキーの標準コースで初日の夜は楽しく更けていった。本日は広大な蔵王温泉スキー場の中央部と左半分を広く薄く滑ったので、明日は蔵王山頂の地蔵岳とグレンデの右半分に行くことにする。



3人の雄姿?



民宿の女将さんを交えて記念写真

## 1/7(日) 曇りのち晴れ

今日もあまり天気はよくない。ただ明日は午後からは雨あるいは雪になる予報なので、本日はまずゲレンデトップの地藏岳山頂を目指すことにする。宿からちょっと離れた蔵王ロープウェイ山麓線乗り場に行くと、ちょうどクラブツーリズムのご一行様が到着するところで、乗り場は大混雑になりつつあった。観光バス8台は多すぎだ！山麓線から山頂線へとロープウェイを乗り継いで地藏岳山頂に行ったが、濃霧と強風でジッとしているのもつらい状況。順番待ちで大きな地藏さん前で写真を撮って、ザンゲ坂なるところを滑り始めるが、濃霧で周囲がまったく見えず、ボーゲンで降り続けたら、足が痛くなってしまった。無事ゲレンデ上部に下りたら、本日はゲレンデ右半分遊ぶ予定。蔵王全体でいえることだが、齒の立たない上級者向けゲレンデはほんの一部で、あとは中級～初級者向けのため、我々でも楽しめるコースがたくさんある。黒姫ゲレンデ、大森ゲレンデ、横倉ゲレンデを13時過ぎまで滑りまくり、一旦民宿に戻って昼食をとって休憩する。こんなことができるのも宿がゲレンデ前にあるおかげだ。1時間ほど休憩して残りの2時間は昨日行かなかったマップ左端の竜山ゲレンデに向かう。ここは昨年6月にハイキングとワラビ採りで遊んだところだが、今日は別世界。天気も回復してきて今回初めての「景色を眺めながら」のスキーができた。本日も温泉⇒部屋での宴会⇒夕食だが、夕食の蔵王名物バイキング料理はボリュームたっぷりで大満足。これで2食付6,500円は超割安です。



大きなお地藏さん



連結コース



人影もまばらな唐松コース



昨年6月にワラビ採りをやった竜山ゲレンデ



杉山さん



井上里さん



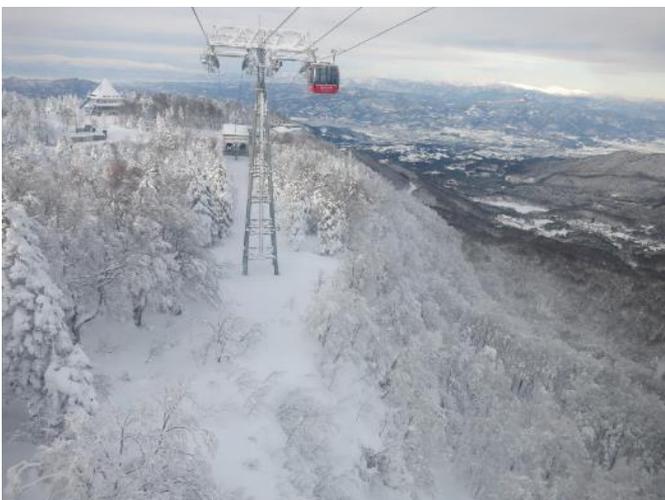
村尾さん



なぜかゲレンデ内部にある露天風呂（休業中）

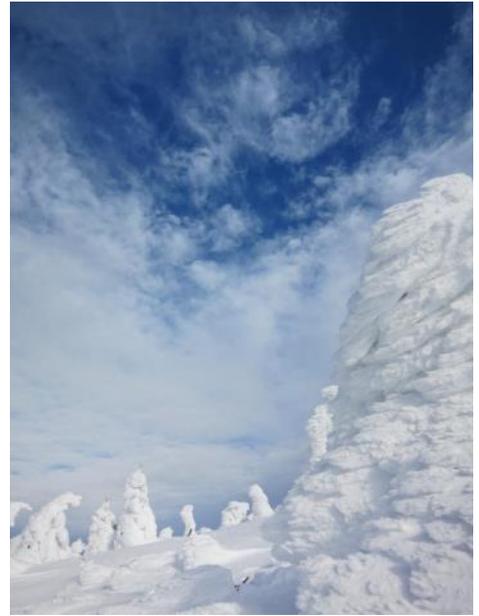
1/8(月) 晴れ

今日は天気が悪いと思ったら朝は快晴。これはもう一度地蔵岳に向かわねばと、昨日の反省からロープウェイの運行開始前に乗り場に向かう。先頭集団で地蔵岳山頂到着。もう絶景で鳥海山、月山、朝日連峰、飯豊連峰などがはっきり見える。蔵王名物のモンスターも発育途中だが、青空に映えて見事な風景を造り出している。昨日わけの分からなかったザンゲ坂は意外と広いことが分かり、快適なターンを刻む。ザンゲ坂から下は昨日一応滑ったところではあるが、本日は昨日なかった広大な展望つき。景色の有無がこんなにスキースの楽しさに影響するものかと思ってしまう。





飯豊連峰（左）と朝日連峰（右）をバックに



成長過程のモンスター



樹氷原の中を滑降



この景色も間もなく見納め



泊まった民宿



この最終日は帰りのこともあるので、名残惜しいが昼前に切り上げて宿に戻った。帰りの高速道路は渋滞を覚悟していたのだが、往路と同じでとくに渋滞もなく、19時くらいには帰宅できた。蔵王はほぼ毎年の杉山さん以外はほとんど初めての『花のニッパチトリオ（村尾・井上里、柘植）』であったが、蔵王スキーを存分に楽しむことができました。

柘植（記）